

東京駅リベンジ

Bokka Sayoko
Chapter of
Tokyo Station

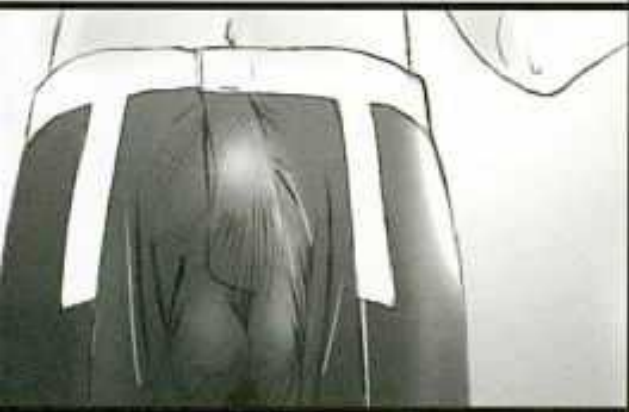
かみくに奏でるせしサーティナー

Revenge #02





ボツカ!





何で顔、
隠すの？



……じゃ
なく……て……

んが、

顔、



いいものにも……



んが……



一緒に
入るの……？

……

い





は、恥ずかしいから...

初めは...キス、

...だけがいい...



でき...



うん...

違う...



もう、するの...?



しゅもつ...? ...違ふよ...



!!!

...じ...

ん...



...わかった。



!





濡れ髪...
色っぽい...

ううん...

あ...
...お腹...
当たってる...

あ... 熱い
ポツカのも あ...
あたしのも...

あ...
熱いよ...

んっ

んっ

んっ

あたしの方が...
早いから...

あん

んっ

んん...

あん

あっ







はあ

はあ

77回目までは…
ちやんと覚えて
たんだよ…

でも…



ボツカと
余計な事まで
布団の中でするようにな
ったから…

…わかんなく…
なっちゃったんだよ…

あっ…

あっ…



…すれたり…

…大っきかったり…

…



…余計な事って、

何？

…余計な事が、
したくなる。



キスの...

...その先が...
したくなる...

小夜子が...
...可愛いから...



小夜子

あつ

あつ

あ



...ああつ!

あつ



あん

ちゅっ

ちゅっ

あう

あっ

うう



うう

ここで
済ませておけば、
よかつたな...

あう

...ポツカ...?



...74回目はき...

うあ...

あう



はあッ

はあッ

はあッ

あの日...
二度...

キスの一つも
してあげるんだった...
後になってき...
つて...



あの時だけは...



凄く後悔した...



んっ

あっ

はっ

あっ

あっ...

ぬっ...
ぬっ...

ぬっ...
ぬっ...

ポツカ...

...ポツカ...

はあっ

...あたしは...

ナッ...

ナッ... ナッ...

はあ

はあ



今日こそは、

キスだけじゃ、
済まさないから…



だから、今日は…

あつ

あ

…小夜子の事…
もつ…もつ…
大事にさせて…



はあ

はあ…

ポツカ…う

あ…

ぬるっ



ああ!

んん

ポツカ、
だから、
あたし…

大事に…
…されて…るって

ポツカ…

あ

んん









あっ!

ああ!

ちゅーっ!

うあ!

あ!

あん!

あ...

ボツカの
キス、

好きだよ...

...うああん...



ああああん…!

んっ…
指も…
好きだよ……

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ぬほっ
ぬほっ
ぬほっ
ぬほっ



あっ…

うっ
セクン…
セクン…

ボツカの…



す…

ああっ

あああ…
ああ…

セクン…
ぬほっ
ぬほっ

ボツカ…が…



だって…

…
好きなんだもん…



…う好き…い…

こんなに濡らして、

ふう…

僕に告白してくれるの？



こんなに、

エッチな事になってる…



ホッカだって…



キスで…
イツちゃうなんて、
エッチな奴。





洗って
あげる…。



小夜子。

…あったかいよ…

ぴと…

ポツカの
背中…

大きいから…

…背中…

あ…

…うん。
遊んでるの。

す、
滑るんだよ…

こちも、大きく
なっちゃうだろ…

こっ…
こっ…

凄く
大きいから…

いつも…暖めるの、
苦労するんだ…

…ポツカ…

だから…

小夜子…
…のほせちやう
だろ…

…ポツ…カ。



……んはー

……うん
洗わなきゃ……

……んはー

……んはー

……んはー

……んはー

……んはー



あぁっ！
あ……
か……



はぁっ

あっ

……んは……

あはあん……
……ホツカ……
……それじゃ、
……洗って
……な……
あ

……柔らかい。

あぁっ……！

……んは……

……んは……

……あぁっ！



小夜子。

は
し
つ！

……んは……
ホツカ……

……あたし、力
入んない。



小夜子に...こすれてる...

はあ

あはんっ...

あ、

はあ

はあ

はあ

当たるよお...

...ボツカ...

キョッ
キョッ

うあッ

キョッ...
キョッ...

キョッ

...小夜子...

ボツカ、
あたし、

小夜子

あたし、

小夜子

ボツカと……

はあ……
……一緒に、
つながりたい……

……はあ……
中も……

……ぬるぬるだ……



...あぁっ...

はあ

はあ

はあ

.....

...さっしゅ...



…バカ…
…そんな事…

考えてたの…?

はあ

舌…

……。

きみと…

…



…ダブルへ、
行こうか。

はあ

はあ

小夜子…。

はあ

繋がれた……。

to be continued v

この場所で……

まみに奏でる、セシナーデ。

Presented By *Ve-I*

The MEL ODY of OBLIVION

TOKYO STATION HOTEL

Bokka & Sayoko,

Chapter Tokyo Station **Fan Book**

Rin Sakuratsuki

